



待ちモード No.33

2005年 5月

ドライマウス ~ 口腔乾燥症 ~

”ドライマウス（口腔乾燥症）とは、唾液の分泌量が少なくなることによって口がかたく現代病で、主な原因としては、老化や薬の副作用、口呼吸、またはストレスや乾燥した室内等とされています。”

< 唾液の働き >

唾液に含まれる酵素の力で、細菌の繁殖を予防しています。唾液が少なくなることによって、口の中の細菌やカビ類などが繁殖し、歯の周りに歯垢がついて、歯周病や虫歯になってしまいます。その他唾液には、消化作用、歯の再石灰化作用、粘膜保護作用などさまざまな作用があり、どれも大切な役割を担っています。



< ドライマウスの自覚症状 >

- * 唾液が出ない
- * 口が渴く
- * しゃべりにくい
- * 食べ物がうまく飲み込めない
- * 虫歯や歯周病の悪化
- * 義歯の装着が困難 など

< 対処法 >

頻繁な水分摂取や、キシリトール入りのアメやガムをよく噛んで唾液を出すようにしましょう。また、お部屋の乾燥に注意しましょう。この他に、湿潤剤として「ウエットケア」という商品などもあります。これを塗布すると、口の中の乾燥を防ぎ、症状が軽くなります。当医院でも販売していますので、お気軽にお尋ね下さい。

鈴木歯科